

令和 2 年 9 月 15 日  
総務省  
全国過疎地域自立促進連盟

## 令和 2 年度過疎地域自立活性化優良事例表彰における 総務大臣賞及び全国過疎地域自立促進連盟会長賞の決定

総務省及び全国過疎地域自立促進連盟は、令和 2 年度の過疎地域自立活性化優良事例表彰における総務大臣賞及び全国過疎地域自立促進連盟会長賞を、以下のとおり決定しました。

なお、表彰式については、11 月 27 日（金）に東京都内にて執り行う予定となっております。

### 1 過疎地域自立活性化優良事例表彰について

本表彰は、地域の自立と風格の醸成を目指した過疎地域の取組を奨励するため、創意工夫をもって過疎地域の活性化に取り組み、優れた成果を上げ、過疎対策の先進的・モデル的事例としてふさわしいこと等を審査の基準として、過疎地域自立活性化優良事例表彰委員会（委員長 宮口 侗 廸（みやぐち としみち）早稲田大学名誉教授）において選定の上、表彰するものです。

### 2 受賞事例

#### ◎総務大臣賞（5 事例）

団体名	キャッチフレーズ	概要
あわしまうらむら 粟島浦村 (新潟県 粟島浦村)	育つ粟島 ～人が育つ島づくり～	粟島浦村では島外の児童生徒を受け入れる「粟島しおかぜ留学」が行われている。しおかぜ留学では、小規模離島ならではの「暮らし」体験や馬の飼育を通じた「命の教育」をはじめ、特色ある教育が行われており、留学生に都市ではできない経験を提供するとともに、島全体の活性化や島外からの交流人口の拡大等をもたらしている。
いずみじちかい 和泉自治会 (福井県 大野市)	「ここに生き続けられるために」	和泉自治会では、策定した「和泉地区地域づくり計画」に基づき、「生活」、「産業」、「人・伝統」の 3 つのチームを形成し、各チームでコンビニエンスストアの誘致や、交流の場作り、地場産品を扱う株式会社の設立、地域伝統の継承等、地区の課題解消に向けた取り組みを地域住民が主体となり展開している。
しきしまじちく 敷島自治区 (愛知県 豊田市)	移住者受入れで蘇る地域「しきしま」 ～都市とつながり、自分たちの ふるさとは自分たちで守る～	豊田市内で過疎化、高齢化の著しい旭地区にある敷島自治区では、2010 年に住民が自発的に将来ビジョン「しきしま・ときめきプラン」を策定し、都市との交流、移住者の受入れを柱として地域課題の解決に取り組んでおり、徹底した空き家活用等により、目標以上の移住者受入れを達成する等、地域の活力を生み出している。
特定非営利活動法人 のってこらい (三重県 熊野市)	一隅を照らす ～地域住民主体で過疎地の 交通サービスを守る～	過疎・高齢化が進む、熊野市五郷町で集落の課題であった交通空白地等の交通不便問題に対し、地域住民自らが立ち上がり、公共交通空白地有償運送の制度を活用し、地域が主体となった交通サービスを運行している。きめ細やかな交通サービスの提供により、地域住民は住み慣れた地域に安心して暮らし続けることができている。
ちやのきエンデューロ 実行委員会 (佐賀県 佐賀市)	“あそび”で地域おこし ～何も無い山は、宝の山～	高齢化、過疎化が著しく、集落維持のための環境整備など人手が足りていない状況であった佐賀市富士町苜木（ちやのき）地区において、地区外の若者が集落の環境整備に参加する代わりに地区の山間部にマウンテンバイクコースを作成、地域住民と協力して大会を開催し、関係人口の創出等、地域活性化に大きく貢献している。

◎全国過疎地域自立促進連盟会長賞（4事例）

団体名	キャッチフレーズ	概要
いしかわまち 石川町 (福島県 いしかわまち 石川町)	豊かないしかわ暮らし の創出に向けて	町指定文化財である「鈴木重謙屋敷」及び旧石川小学校を減築リノベーションし整備した「モトガッコ」の2つの拠点を核として、町内2つの高校の生徒たちや地域住民との協働で持続可能なまちづくり事業を実施し、まちなかの活力やにぎわいを創出するとともに、多世代の交流を通じたコミュニティの再生「暮らしたい町」の実現に向けたまちづくりを推進している。
NPO法人 「きばる！ふるさと 丹後町」 たんごちょう 丹後町 (京都府 きょうたんごし 丹後市)	スマホアプリで交通を 支え合う国内初の取組！ 住民タクシーが 過疎地に笑顔を運ぶ	丹後町宇川地区では、小売店などの撤退が続き、自動車の運転ができない高齢者にとっては買物や通院のための交通が課題となっており、同NPOでは、公共交通空白地有償運送の制度を活用し、地域住民がドライバーとなる「ささえ合い交通」の運行を実施している。スマートフォンの配車アプリを用いたシステムを導入するなど先進的なシステムを活用している。
くまもと☆農家ハンター (熊本県 うまし 宇城市)	「地域と畑は自分たちで守る」 農家ハンター☆プロジェクト	100人を越える若手農家を主体に、地域一丸となった獣害対策に取り組んでいる。ICTを導入した効率的な防護や捕獲、ジビエ施設の設定など、マイナスとされてきたイノシシを地域資源としてプラスに変える取り組みを行い、それが地域の希望の☆（星）となっている。
みさと 美里フットパス協会 (熊本県 みさとまち 美里町)	地域を元気にする魔法フットパス ～交流人口を増やすから Walkers are Welcome へ～	美里フットパス協会では、町内15か所にフットパスコースを設け、定期的にイベントの開催等を行っている。地域住民自らがコースの維持管理に関わることで、住民とコースを歩きに来た方との交流が生まれ、関係・交流人口の増加とともに地域活性化に効果をもたらしている。

※全国過疎地域自立促進連盟は、過疎関係都道府県及び過疎地域市町村等を会員とする団体で、会員相互の緊密な連絡提携により、過疎対策事業の充実強化を図り、過疎地域の自立を促進し、過疎地域における産業・経済の開発振興と、地域住民の生活と文化の向上を図ることを目的とする団体です。

**連絡先**

総務省地域力創造グループ過疎対策室

担 当：工藤、佐藤

代 表 電 話：03-5253-5111

内 線：23136

直 通 電 話：03-5253-5536

F A X：03-5253-5537

全国過疎地域自立促進連盟

担 当：宮原、清田

直 通 電 話：03-5244-5827

F A X：03-5244-5828